

議事内容：

1. 南極観測 ([詳細は資料 1 を参照](#))

1) JARE59 報告

- ・ 59 次夏期ドーム旅行を実施した。
- ・ ラングホブデ氷河において熱水掘削を実施した。
- ・ JARE59 において、大気・氷床表面の観測を通年観測中。

2) JARE60・61 における計画

- ・ 60 次夏期ドーム旅行が 2018 年 11 月～2019 年 1 月に実施される。
- ・ 設営系主導での 61 次夏期ドーム旅行が計画されている。

2. 北極観測 ([詳細は資料 1 を参照](#))

- ・ 2018 年グリーンランド・カナック地域で調査を実施した。
- ・ ArCS プロジェクトの一環として、グリーンランド EGRIP において深層掘削・雪氷観測を実施した。
- ・ SIGMA/ArCS プロジェクトの一環として、グリーンランド EGRIP において、気象・雪氷観測を実施した。

3. ワーキンググループ報告

1) 第 3 期ドーム計画対応 WG

10 月 16 日（火）～18 日（木）の日程で、国立極地研究所にて「第 3 期ドーム計画 & 新学術氷床班 2018 合同集会」が開催される。ドーム計画の進捗状況、今後の計画等が議論される。

2) 北極雪氷検討 WG

北極にかかわる国際会議に出席して、下記の北極各国の観測・研究情報や国際フレームワークの動向情報が収集された。

- ・ 北極観測実施者会議 FARO：格好の北極観測基地や船舶、航空機の活動状況の情報交換
- ・ 雪氷圏と気候 CliC 及び WCRP の将来構想
- ・ IUGG/IACS 活動と 2019 年 IUGG モントリオール予定
- ・ WMO/GCOS の気候変動陸域観測検討パネル TOPC での気候基本観測要素 (ECV) 検討
- ・ Polar2018 での各国の北極研究にかかわる動向情報取得

4. 事業報告

- ・ 国際対応として、「極域で行われた掘削、観測とそれらの計画、極域に関する国際学会等の報告」 ([資料 1](#)) の作成と紹介。

5. 監査報告

榎本浩之監事より、分科会事業が適正に運営されていることを確認したとの監査報告があった。[\(資料2\)](#)

6. 役員改選

新分科会長と新監事の選出は、会員メーリングリストにておこなう。

7. その他

・積雪分類 WG 報告

北大低温研の的場澄人氏より報告があった ([詳細は資料3を参照](#))。